

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO
NEWS

2006・4・15 No. 170 発行／〔こどもの城〕広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



真ん中の電柱のところで、右と左の通りを張りあわせてように見えて、まるで回り舞台に作られた舞台装置。実際にある街並みとは思えない不思議な風景です。
まっすぐに立っているとと思っていた電柱が、ほんの少し右や左に傾いているので、家もゆがんで立っているように見えます。どれが垂直でどれが水平なのか分からなくなってしまいます。
店先や看板の明かりが人の営みを感じさせてくれる左の通り。右の通りはたそがれ時に静かにたたずんだまま。時間も空間も別の世界が、背中あわせに並んでいるようです。
(写真：中根静男／文：たかべ としき)



めざせ5つ☆シェフへの道

「こどもの城アドベンチャー」は、平成14年から始まったプログラム。企画から運営まですべてをボランティアが担当し、毎月1・2回、土曜日に〔こどもの城〕全館を使って行われています。今までに「エキサイトハンティング」「こどもの城事件簿」「モンスタートレーニング」「モンスタージャラジャラ」を行い、たくさん子どもたちといっしょにゲームを楽しんでいます。4月22日から、新プログラム「めざせ5つ☆シェフ〜クッキングへの道〜」がスタートします。

めざせ5つ☆シェフ〜クッキングへの道〜 (開催予定日)
4月22日、5月13・20日、6月3・24日、7月8日
(いずれも土曜日。受け付け時間は2時〜4時30分。
変更になることもあります。事前にご確認ください)

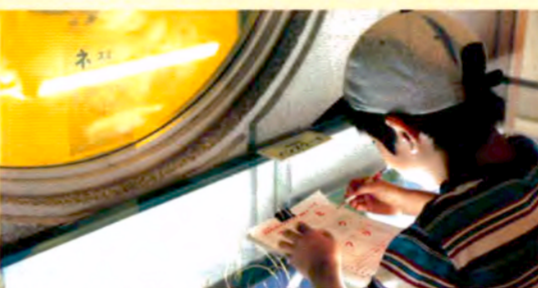


▲ボランティアのお兄さん、お姉さんの説明を聞いてからスタート。(「モンスタートレーニング」)

など、ふだん、なにげなく食べているものをゲームをとおりて見直してみようというプログラム。
和食、イタリアン、中華、ランチ、デザート5つのジャンルのなかから、ある料理が出題されます。例えば、和食なら肉じゃが、親子どんぶり、中華ならマポー豆腐、ぎょうざ、そしてイタリアンならグラタン、ミートソース—それぞれのジャンルごとに、5種類のメニューが用意されています。
メニューが決まったら、その料理を作るために必要な肉や野菜、調味料などの食材を仕入れに行きます。

和・洋・中など5つのジャンルの料理を作る 館内にかくされた“食材”をさがせ!

「めざせ5つ☆シェフ〜クッキングへの道〜」は、クッキング(食)がテーマ。この料理を作るためには、こんなにいろいろな材料(食材)が必要なんだ—



▲「エキサイトハンティング」と同じように、〔こどもの城〕館内をまわって課題をみつかり、クリアしていきます。

食材売場は〔こどもの城〕のなかにはありますが、かんたんには見つけることができません。地下1・2階、2〜5階、10階のろうかやエレベーターホールどこかにあるので、探しだしてください。売場を見つけて、課題をクリアすると食材を手に入れることができます。5種類の食材を全部集めてください。野菜や果物の売場は3・4階、肉や魚の売場は5階というように、階ごとに扱う食材が分かれていますので、そのなかから必要なものを探しだします。
5つのジャンルの料理をすべて完成させると、「5つ☆シェフ」になれます。和・洋・中・ランチ・デザートすべてを知っている、オールラウンドのシェフです。

ボランティアのお兄さん、お姉さんは、より多くの子どもたちとより楽しく遊べるようにするには、どうすればよいかをいつも考えています。「モンスタージャラジャラ」では、新しいモンスターをみんなに考えてもらってモンスターの数を増やし、遊びの楽しさを広げました。「めざせ5つ☆シェフ〜クッキングへの道〜」でも、メニューや食材が増えたり、「5つ☆シェフ」とは違う「達人シェフ」が出てくるかもしれません。「クッキング」という言葉にも、ある秘密がかくされているようです。

平成18年度「児童福祉週間」標語
大切だよ 信らいつるこころ されるこころ



〔こどもの城〕の音楽と新体操の講座受講生が、1年間の活動の成果を発表する「新体操発表会〜Joyful 2006」
新体操発表会〜Joyful 2006
【こどもの城】の音楽と新体操の講座受講生が、1年間の活動の成果を発表する「新体操発表会〜Joyful 2006」(3月19日/体育室)と「ほくらのサウンド2006」(3月17〜19日/青山円形劇場)が開かれました。

みんなの元気のびる

2006 ゴールデンウィーク 特別期間
4月29日(土)〜5月7日(日)
5月1・8・9日は休館させていただきます。

開催時間 10:00〜5:30
入館料 500円(5月2日は12:30〜)
入館料 とも400円(5月1日・2日・3日)
5月1日・2日・3日は10:00〜12:30まで入館料無料

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1
☎03-3797-5676 ☎03-3797-5676
FAX 03-3797-5676
http://www.kodomo-no-siro.jp/

こどもの城

きょうもおいしくいただきますま〜す!

児童福祉施設給食用 スキムミルク

スキムミルクってなあに?

栄養価が見直されるスキムミルク

スキムミルク(脱脂粉乳)は、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いてつくります。スキムミルクの大きな特徴は、乳脂肪がきわめて少なく、低脂肪、低エネルギーであることから、飲用にも料理にも、さまざまなお菓子作りにも幅広く活用していただけます。さらに、良質なたんぱく質、カルシウム、ビタミンB2など、成長や健康に欠かせない栄養素がたくさん含まれているのも特徴です。

スキムミルクは、動物性脂肪をほとんど含んでいないので、生活習慣病予防に役立つ健康食品として高く評価されています。大人だけでなく子どもにも生活習慣病が増えている今こそ、低脂肪・低エネルギーのスキムミルクをしょうずに給食に取り入れ、子どもたちの健康づくりに役立ててください。

お問い合わせは **TEL 03-3591-3245**
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216
児童給食事業部では、ニュージーランドの厳選された新鮮な牛乳から作った「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

1・2歳親子のための「よちよちクラブ」

1・2歳児の親子を対象にした「よちよちクラブ」が、毎月1回、土曜日に保育室で開かれています。子どもたちの生き生きとした姿を感じ取ることができる保育室で、保育のスタッフと親子遊びやおしゃべりを楽しみながら、親子もリラックスしてゆったりと過ごすプログラムです。

親子遊びやおしゃべりで ゆったりとしたひとときを

受け付けをすませた子どもたちには、名刺サイズのシールに名前を書いて(名札)見えやすい所(背中など)にはってもらいます。名前を呼ぶことで、親しみも増します。はじめの15分ぐらいは、保育室に置かれているおもちゃで自由に遊んでもらいます。

れ、参加した親子がうちとけやすく、くつろぎやすい環境作りに役立っています。

みんながそろったら、保育スタッフが手遊び、歌遊び、「つくりもの(工作)」遊び、スキンシップ遊びなどを紹介します。おもちゃに夢中な子がいなくても、「お母さんが、遊び方を覚えていってください」と子どもを無理に参加させたりはしません。

ふだんは保育活動に使っている部屋なので、子どもたちが描いた絵や作ったものが飾られ、飼育している金魚やザリガニがいます。子どもはいなくても、子どもたちの匂い——人間的なあなたが自然に感じら

遊んだ後は、麦茶でティーブレイク。ひと休みしておしゃべり。最後にパネルシアターや大型絵本などを静かに楽しんで終わります。

「親子遊びの場というだけでなく、子育ての知識があって、お母さんの思いを受け止めてくれるスタッフが

いるということで安心感を持たれるようです。よほどのことがないかぎり、自由にさせています。このくらいの年齢の子どもなら、このようなことをします。少し様子を見てみてください、というように話をすると安心するようです」と保育スタッフ。保育室という環境と保育の知識を持ったスタッフの2つの「ぬくもり」が、参加した親子のリフレッシュをお手伝いしています。



のんびりくつろいでパネルシアターも

4月29・30日は研修室で 拡大版「よちよちクラブ」

児童福祉週間(ゴールデンウィーク)特別期間中の4月29・30日(10~4時)には、拡大版「よちよちクラブ」を研修室で開催します。おもちゃなどを用意し、自由に出入りできるようにし、時間を決めて保育スタッフが親子で楽しむ手遊びやスキンシップ遊びの紹介、パネルシアターの上演などを行います。



受け付けをすませたら、しばらく自由に遊びます

保育室で行う定例の「よちよちクラブ」の開催予定日は以下のとおりです。

- 対象=1・2歳児の親子(15組)
時間=11~12時、1時30分~2時30分
場所=保育室 1(5階)
開催日=5月20日、6月10日、7月1日、9月30日、10月14日、11月4日、12月2日、平成19年1月27日、2月10日(いずれも土曜日)
※お申し込み・お問い合わせ=保育研究開発部 03-3797-5669

土曜日の「こどもの城」は「おもしろい」

小・中学生プログラム

夏休みや児童福祉週間(ゴールデンウィーク)などの特別期間を除く土曜日を中心に、小・中学生が興味を持って取り組める遊びのプログラムを行っています。音楽ロビーでは、じっくりと楽器演奏の楽しさを体験してもらおうと「ポコ・ア・ポコ土曜音楽倶楽部」が始まります。

ポコ・ア・ポコ土曜音楽倶楽部

じっくりと楽器の演奏にチャレンジ。一つの楽器を3~4か月間連続して取り上げます。初めて手にしたとき、2度目、3度目……少しずつ難しいことに取り組むことができます。何回かにわけて練習すれば、長い曲も演奏できるようになるかもしれません。特別期間を除く土曜日に開催。対象:小学生3年生以上 場所:音楽ロビー 時間:2時~2時50分

ビッグサタデー

スポーツのおもしろさ、楽しさを知ってもらおうプログラム。それぞれの種目特有の体の使い方やテクニック、作戦などを身につけ、ゲームを楽しみます。特別期間を除く土曜日に開催。対象:小学生4年生以上 場所:体育室 時間:10時30分~11時45分

- 4・5月 ウォールサッカー (4月29日・5月6日はお休み)
6月 タグラグビー
7月 フライングディスク (7月15日まで)

4~7月 箏(こと) (7月15日まで)



「小・中学生土曜日パス」発売中

休館日以外のすべての土曜日に利用できる、小・中学生専用のフリーパスです。料金は2,500円で、発行日から1年間有効です。このほか、小さい子を連れて遊びに来るお母さんたちのために、平日

のみ使える大人向けの「平日ゆうゆうパス」(3,000円。1年間有効)もありません。また、夏休み特別期間には期間限定の「わくわくバス」「ドキドキバス」もあります。詳しくは、総合案内係【03-3797-5666】へお問い合わせください。

土・日曜日、祝日に開催

造形スタジオ クリエイティブ・コーナー

子どもだけで造形活動に取り組む場所。同じくらいの年齢の子どもたちが作業台を囲んで、たがいに刺激しあいながら、それぞれのイメージを「かたち」にしていきます。その時の造形スタジオの活動に関連したプログラムを取り上げます。1時間~1時間30分のプログラム。土・日曜日、祝日(特別期間は毎日)に開催。対象:プログラムにより異なります。場所:造形スタジオ 時間:10時~4時30分(原則) ※プログラムにより受け付け終了時間が繰り上がる場合があります。



にとんだラインアップ。4~7月のプログラムは下記のとおり。研究員に登録してスタンプを集めると、すてきなプレゼントも。対象:小学生以上の子ども 場所:プレイホールほか 時間:1時~4時

- 4月15日 飛行機が飛ぶ秘密
22日 コマまんが道場
5月13日 スーパー糸電話
20日 驚き盤を作る
27日 あぶりだしのふしぎ
6月 3日 空気のカ(パワー)
10日 色々プリント術
17日 混虫(まぜむし)工場
24日 コマまんが道場
7月 1日 クイズ100問
答えてラリー
8日 混虫(まぜむし)工場
15日 水をろ過する



それぞれの館の「いち押し」のプログラムを紹介しあったり(写真左)、「つくってあそぼう」に加わって子どもたちと遊びました(写真右)

こどもの城と なかまたち

「じょいんアクション2006」開く 大型児童館のボランティアが交流・情報交換

2001年(平成13年)の「ボランティア国際年」に、社会福祉・医療事業団(現・独立行政法人福祉医療機構)の子育て支援基金の助成を受けて、全国の大型児童館で活動している「遊びのボランティア」の交流事業が行われました。[こどもの城]を含めて全国15館が参加し、情報交換・交流をする「じょいんフェスティバル」を3日間にわたって[こどもの城]で開催しました。これをきっかけに、「じょいんぐ」という情報誌も定期的に発行される

ようになり、大型児童館で活動しているボランティアの自主的な情報交換・交流が行われるようになりました。現在は、21の施設で情報交換を行っています。今回は、紙面とおとの交流だけでなく、直接顔を合わせて意見交換したり、共同で遊びのプログラムを運営することで、結びつきを深めて新しい可能性を探ろうと、交流会「じょいんアクション2006」への参加を呼びかけました。3月4・5日には、宮城県子ども総合センター、栃木県子ども総合科学館、ぐんまこどもの国児童会館、神戸市総合児童センター「こべっこら

ンド」の4館のボランティアが「こどもの城」に集まり、交流会でみんなの悩みを話し合ったり、それぞれの活動を紹介しあったりしました。さらに、「こどもの城」のボランティアが行っている「つくってあそぼう」に加わり、ボランティアだけではなく、遊びにきた子どもたちとの交流も深めました。「半年かけて計画し、準備を進めました。来年度は他の館で別の形で実施するという案もでてます。これからも、なんらかの形で定期的各館との交流を行う方法を考えていきたいと思います。メンバーを募って、互いに他の館の活動に参加する機会を作ることもよいのではないかと、じょいん都門(他館との交流を担当)のボランティア。

ファミリー アドベンチャー

春を探しながら 15家族が 写真オリエンテーリング楽しむ

ファミリーアドベンチャー2005「パークアドベンチャー〜春はすぐそこに……」が3月12日に柏の葉公園(千葉県)で開かれ、15家族49人が参加しました。心配された天気も、雨に降られることもなく、ときおり陽射しが差し込むほど。解答用紙が吹き飛ばされそうな、春一番を思わせるような強い風が吹いていましたが、広い公園の中で課題に出された写真と同じ場所を探す「写真オ

リエンテーリング」を楽しみました。2006年度のファミリーアドベンチャーは、5月14日に第1弾「パークアドベンチャー〜潮風と運をたよりに〜」を行います。場所は、葛西臨海公園(江戸川区)。スタートのときに渡された問題と地図を頼りに、隠されたクイズの答えを探して回る

「クイズウォークラリー」。順番は自由なので、どのようなルートを通れば最速で回れるかなどの作戦も大切になってきます。

「パークアドベンチャー〜潮風と運をたよりに〜」の受け付けは4月21日正午から、電話で先着順に行います(1回線につき1家族の受け付け)。お問い合わせ・お申し込みは、体育事業部「ファミリーアドベンチャー」係【03-3797-5660】へ。

■パークアドベンチャー〜潮風と運をたよりに〜■ 日時=5月14日(雨天中止) 集合=10時30分/JR京葉線葛西臨海公園駅改札口前(車での参加はご遠慮下さい) 解散=3時ごろ現地解散 対象=当日4歳以上の子どもとその家族(親、祖父母、兄弟姉妹など)/15家族 参加費=大人1,000円/子ども500円(保険料・プログラム費など。現地までの交通費は自己負担です) 持ち物=弁当や水筒、雨具などをご用意のうえ、動きやすい服装でご参加ください。



「パークアドベンチャー〜春はすぐそこに……」には、15家族49人が参加しました

熱戦が繰り広げられた第37回バンパー大会

笹原彰人さん(小学生の部)と 石川 諒さん(中学生の部)が優勝

第37回バンパー大会が、3月21日にプレイホールで開かれました。小学生の部に10人、中学生の部に5人が参加、熱戦が繰り広げられました。大会の結果は下記のとおり(敬称略)。【小学生の部】優勝=笹原彰人(小4)

【中学生の部】優勝=石川諒(中1) 準優勝=平出哲(中3) 準優勝=笹本明生(小6) 第3位=加藤聖次朗(小6)、水沼紗恵(小6)



Bスタジオの催し

- 4月16日 手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」
4月23日 不思議な映像実験室「絵が動いて見えるおもちゃの展示とワークショップ」
5月14日 子どもの城映画劇場「カナダのアニメーション」

示と3種類のワークショップ。ソーマトロープを作る(1時30分~12時30分) ビンホールカメラを作る(1時30分~2時30分) フィルムに絵を描こう(3時30分~4時30分) 子どもの城映画劇場「カナダのアニメーション」 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分 世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーションを上映。【母の歳月】(13分31秒/Francine Desbiens監製)、「ふくらうとがらす」(6分39秒/Co Hoedeman監製) 5月12日 もぎもぎ カロとビヨブト〜おうち〜 19日 もぎもぎ カロとビヨブト〜サンドイッチ〜 26日 もぎもぎ カロとビヨブト〜あめのひ〜

フィルムケースを使った「かっこう笛」。幼児から参加できます。時間内随時受け付け。 【だるまちゃんシリーズ】 4月14日:だるまちゃんとてんくちゃん 21日:だるまちゃんとだいきくちゃん 28日:だるまちゃんとかみなりちゃん (ゆかいな粘土アニメーション) 5月12日: もぎもぎ カロとビヨブト〜おうち〜 19日: もぎもぎ カロとビヨブト〜サンドイッチ〜 26日: もぎもぎ カロとビヨブト〜あめのひ〜

新連載「ふおとぐらふ」(1画)

今月号から始まった「ふおとぐらふ」(1画題)では、写真家・中根静男さんの作品と、それを見る人(たかべとしきさん)の両面から、写真という「表現」のおもしろさ、楽しさ、すばらしさを伝えていきたいと思います。フォトクラブは、英語で写真のこと。中根さんは、散歩のときも仕事場へ

の行き帰りのときもいつもカメラを持ち歩き、目に留まったものがあればシャッターをおします。珍しいものを写すわけではありません。私たちが目にしたことがあるものが、ほとんどです。しかし、中根さんの手で写真に切り取られると「別のもの」のように生き生きとして「なにが」を話しはじめます。中根さんの「目」は、私たちが違うアンテナを持っているのかもしれない。

写真は、人の目にふれると同時に作品としてひとり歩きます。何を感じ、どのようなメッセージを受け取ることができるのか——見る人が写真と向き合うこととなります。形、光の変化、色、ときには形として現れたものの裏側まで思いをめぐらせ、それぞれの見方で写真と対話します。たかべさんが写真を見て感じたこと、考えたことを伝えてまいります。

青山劇場 03-3797-5678 http://www.aoyama.org
SHINKANSEN☆RS「メタル マクベス」
丸美屋食品 ミュージカル「アニー」
青山円形劇場 CD発売記念 谷真人ピアノライブ「瀬東サツウ」
丸美屋食品 ミュージカル「アニー」